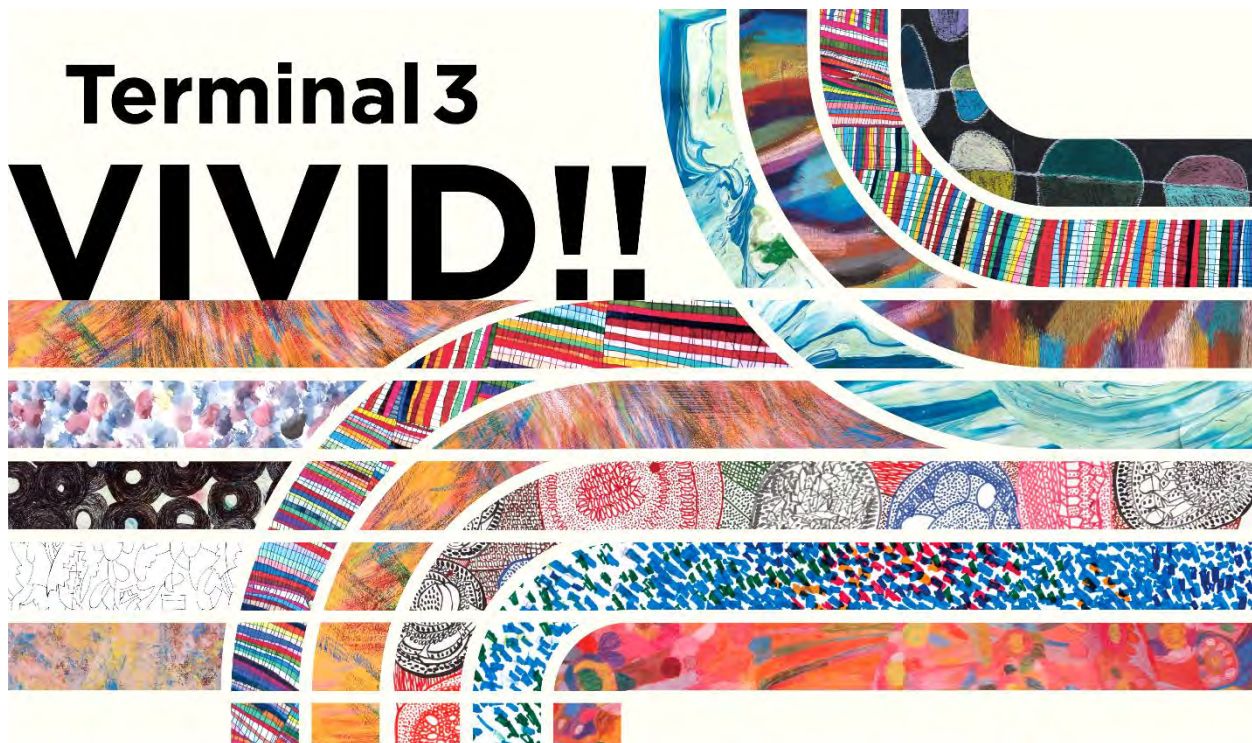


2022年3月28日

誰もがワクワクする空港へ
- WOW感に包まれたアート空間で、Vividな旅の思い出を -

Terminal3 VIVID!!



成田国際空港株式会社は、2022年4月5日に拡張部が供用する第3ターミナルと新アクセス通路において、SDGs達成に向けた取り組みに寄与するアートを軸に、WOW感に包まれた空港体験を創出します。

当社の若手社員で構成されたチームが、未来の空港の姿について考え、企画立案から実施までを手掛けました。

「**Make Terminal3 Vivid**」をコンセプトに、ターミナルの環境だけではなく、お客様の空港での思い出もイキイキと鮮やかに彩りたいとの願いが込められております。アート設置の様子は、拡張エリア供用のカウントダウンとして、4月1日より成田空港公式Instagram「narita.airport_official」にて配信予定です。



エントランス部 アップサイクルアート

【アート 概要】

新アクセス通路およびターミナル館内においては、福祉を起点に新たな文化を創ることを目指す株式会社ヘラルボニーと共同で、アートと空間が一体となったコンコースやギャラリー型のシーティングスペースなどを整備いたします。T3 拡張エリアのエントランス部では、ニットアーティストの蓮沼千紘さんとのコラボによるアップサイクルアートを掲出します。同アートは従業員も一部作成に参加し、一緒におもてなしの空間づくりを行います。

期間：2022年4月5日(火)から順次～未定 ※掲出作品は予告なく終了することがあります

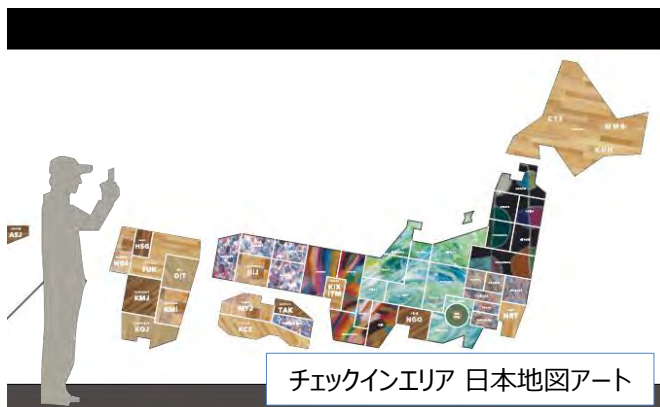
場所：成田空港第3ターミナル2階と新アクセス通路 ※出国審査手続き前のエリア



新アクセス通路 ステンドグラス型アートフィルム



新アクセス通路導入部 サイン型モニュメント



チェックインエリア 日本地図アート



商業エリア導入部 ギャラリー型シーティング

【ニットアーティスト 蓮沼千紘】

文化服装学院ニットデザイン科卒業後大手アパレルメーカーにてデザイナー職を3年間勤め退社。独立後はハンドニットan/eddy(アンエディ)の活動を本格化し国内外で個展やポップアップショップをおこなう。独自のアートワークは雑誌、広告、映像、ミュージシャンの衣装などに多く起用される。店内装飾、屋外装飾、多ジャンルとのコラボレーションなど編むという手法を用いた活動は多岐に渡る。



【株式会社ヘラルボニー】

ヘラルボニー

「異彩を、放て。」をミッションに掲げ、福祉を起点に新たな文化を創ることを目指す企画会社。障害のある人が描くアート作品をプロダクトに落とし込み、新しい価値の提案を目指すブランド「HERALBONY」の運営や、建築現場の仮囲いなどに障害のある作家のアート作品を設置する「全日本仮囲いアートミュージアム」など、福祉を軸とした社会実験に取り組む。

会社名：株式会社ヘラルボニー / HERALBONY Co.,Ltd.

所在地：岩手県盛岡市開運橋通2-38

代表者：代表取締役社長 松田 崇弥、代表取締役副社長 松田 文登